

地 理 B (100点満点)

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点		
第1問 (20)	A	1	1	4	第4問 (20)	A	1	19	2	3	
		2	2	1			4	2	20	1	3
		3	3	3			3	3	21	5	4
	B	4	4	4		4	4	22	3	3	
		5	5	1		3	5	23	4	3	
		6	6	1		3	6	24	2	4	
第2問 (20)	1	7	6	3	第5問 (20)	1	25	2	3		
	2	8	2	3		2	26	4	3		
	3	9	6	4		3	27	3	3		
	4	10	4	3		4	28	2	4		
	5	11	4	4		5	29	4	4		
	6	12	3	3		6	30	2	3		
第3問 (20)	1	13	2	3	/						
	2	14	4	3							
	3	15	4	3							
	4	16	5	4							
	5	17	1	3							
	6	18	2	4							

解説

第1問

〈出題分野〉

世界の自然環境と災害

問1 正解 ④

図1中のDの南側には、インド洋に流れ込むガンジス川の三角州があり、その北側には標高8000m以上の高山のあるヒマラヤ山脈と標高4000～5000mのチベット高原があるので、イとなる。線Eの西側にはペルー海溝・チリ海溝があり、アンデス山脈もあるので、アとなる。ヒマラヤ山脈の説明文はHである。

問2 正解 ①

①乾季になるとあるので冬の季節風で、南アジアでは北東の季節風となるので誤り。②降水量が増える時期とあるので南半球の夏で、この時期には熱帯収束帯は南に位置しており正しい。③夏の日本は太平洋からの季節風が吹くので正しい。④中央アメリカでは、夏に熱帯低気圧のハリケーンが襲来するので正しい。

問3 正解 ③

①人間活動の活発化により農牧地が開発されると、植生の破壊によって土壌浸食がすすむので正しい。②土砂流出量が減少すると、河口に運ばれる土砂が減り、海岸浸食のリスクが増大するので正しい。③ダムを建設すると、土砂の流出が抑制されるので誤り。④植林を行うと、土砂の流出が抑制されるので正しい。

問4 正解 ④

①森林が密な地域はミシシッピ川河口部で標高は低く、年降水量は多く、緯度が低いので年平均気温は高いので会話の条件に合致しない。②森林が密な地域はアマゾン盆地で標高は低く、年降水量は多く、緯度が低いので年平均気温は高いので会話の条件に合致しない。③森林が密な地域はコンゴ盆地で標高は低く、年降水量は多く、緯度はほぼ同じだが標高が低いので年平均気温は高いので会話の条件に合致しない。④森林が密な地域は中央シ

ベリア高原で標高は高く、年降水量はやや多いが差は最も小さく、年平均気温は高いので会話の条件に合致する。

問5 正解 ①

①正しい。②近年の人為的な開発の影響を強く受けているのは熱帯雨林なので誤り。③亜寒帯林の成長を制限しているのは気温なので誤り。④緯度が低い熱帯雨林の土壌層は薄いので誤り。

問6 正解 ①

P：森林火災は、乾燥していると発生しやすく、風が強いと拡大しやすいのでサとなる。Q：焼畑農業は熱帯で行われているのでタとなる。

第2問

〈出題分野〉

世界の産業と貿易

問1 正解 ⑥

日本では第1次産業人口率が最も低いので、ウとなる。小売業の就業者数はほぼ人口に比例するのでアとなる。残ったイが製造業である。

問2 正解 ②

AとBの線が交差しているところが作物の選択が変わる場所になる。交点より市場に近いところではA、遠いところではBの方が高いので②となる。

問3 正解 ⑥

田では米、畑では野菜、樹園地では果物が主に作られる。米は東京からの距離による収益がほとんど変化しないのでサとなる。収益の差が最も大きいのが果物なので、スとなる。シは輸送費が安く収益が大きい近郊農業と輸送費が高いので収益がやや小さい遠郊農業の特徴が見られる。図4中のDは東北全体で指数が大きいので米、Eは青森の指数が高いので果物、Fは関東の近郊農業の地域が上位なので野菜となる。

問4 正解 ④

市場からの距離の近さが立地に強く影響している産業は首都型産業の代表例である出版・印刷なので正解は④である。付加価値の高い産業である①と②は距離の影響は小さい。③のコールセンターは

輸送費がないので、距離の影響を受けない。

問5 正解 ④

1人当たりGDPが少ないJがベトナムで、KとLのうち輸出依存度が高いLがシンガポール、Kがカナダとなる。日本の輸入品目については、ベトナムが労働集約型の衣類を含むチ、医薬品を含むタがシンガポール、残ったツがカナダとなる。

問6 正解 ③

訪日観光客数(2019年)は、中国、韓国、台湾、ホンコン、アメリカ合衆国の順で、マは中国、ミはアメリカ合衆国、ムは韓国である。中国からの観光客の爆買いが話題になったので、Pが買い物代となる。ミのアメリカ合衆国の消費額が大きいQが宿泊費となる。

第3問

〈出題分野〉

人口と村落・都市

問1 正解 ②

高齢化はヨーロッパで早くから進行していたので、①がフランスとなる。逆に発展途上国では進行が遅いので、④が中国である。日本の老年人口は世界最高なので、③が日本、残った②はカナダとなる。

問2 正解 ④

ヨーロッパの中でも、北欧は国が女性の経済的自立を支援しているのでアはフィンランドである。ウは30歳代で低下しているが、これは育児を女性が専業主婦となっていくことが多い韓国である。残ったイがアメリカ合衆国となる。

問3 正解 ④

写真1は、ヨーロッパにみられる教会や広場を中心として家屋が環状に並んだ伝統的な円村なので、キとbの組み合わせとなる。カとaの組み合わせは、散村の特徴である。

問4 正解 ⑤

サはルックイースト政策とあるのでマレーシアであり、都市人口率は工業化の進展とともに上昇するのでBである。マレーシアの特定ができなくても、工業化の進展が著しいとあるので上昇率の

高いBを選ぶことができる。シはやや難しいがコーヒーの原産地であるエチオピアであり、旧大陸の発展途上国なので都市人口率が最も低いCとなる。エチオピアを特定するのが難しい場合は、最大の輸出品目がコーヒーで、モノカルチャー経済の傾向が残っていることから発展途上国であると判断し、Cを選ぶことができる。スは鉄鉱石・石炭の輸出からオーストラリアであり、新大陸の国なので都市人口率が最も高いAとなる。オーストラリアの特定もやや難しいので、第3次産業就業者の割合が高いことから先進国と同様に都市人口率が高いと考える。

問5 正解 ①

主な鉄道網をみると、タの地域がこの大都市の中心であると考えられる。大都市の中心部では自動車での移動が不便なので、郊外の移動が多いEが自動車となり、中心部への移動が多いFが鉄道となる。また、タが中心部なので昼夜間人口指数は100よりも大きくなる。

問6 正解 ②

公立中学校は地域の人口分布に対応して立地するので、近接していないマとなる。コンビニエンスストアは店舗数が多く、広く分布しているムである。ビジネスホテルは駅の近くに集中しているミである。

第4問

〈出題分野〉

西アジア

問1 正解 ②

図2で横軸が降水量なので、①・②・③は乾燥帯である。図1で乾燥帯に含まれる地点はE・F・Gで、沿岸部のGは気温の年較差が最も小さい①、Eは標高が高いので気温が低い③、Fが④となる。④は夏少雨なので地中海性気候のDである。

問2 正解 ①

図1を確認すると、アは平野部、イは沿岸部、ウは山麓部である。Jの外來河川は、平野部を流れるのでアとなる。アの場所が外來河川のチグリ

ス・ユーフラテス川の流域であることを知っていれば、直接**J**を決定できる。**K**の淡水化施設は、海水を淡水に変える施設なので沿岸部の**I**となる。**L**の地下水路はカナートで、山麓の地下水を集落に引いて農業を行う際に蒸発を防ぐために地下水路を利用するので**ウ**となる。

問3 正解 ⑤

図3の**b**は産油国で1人当たりのGNIが高いので、乾燥帯で人口の少ないサウジアラビアなどが含まれる**カ**となる。**c**は産油量は少ないがGNIが高いので、工業化が進んでいるトルコを含む**キ**である。**ク**はイランとイラクで、共に産油国であるが人口が多いのでGNIは低くなり**a**である。

問4 正解 ③

図5から、近年人口が急増していることがわかるが、さらに図6より生産年齢の男性の人口が多いことがわかる。これは国外から20~60歳の男性が移住してきたことを意味する。①巡礼者の年齢や性別の偏りは大きくないはずなので誤り。②出生率が高いのであれば性比は1:1になり、幼年人口が増えるはずなので誤り。③外国からの労働者は生産年齢の男性がほとんどなので正しい。④国内の人口移動であれば人口は増加しないので誤り。

問5 正解 ④

トルコとモロッコはともにイスラム教なので、豚肉は食べないので、**P**が豚肉で**Q**がナツメヤシである。ナツメヤシは乾燥に強いので、乾燥帯が広がるモロッコでの生産が多いので**シ**となる。

問6 正解 ②

難民の多くは近隣の国へ移動することが多いので、地中海の対岸の国への難民の数が多い**S**がモロッコである。トルコは工業国なので、外国からの労働者を受け入れているため受け入れている難民の数が多い**タ**がトルコである。

第5問

〈出題分野〉

福岡市とその周辺の地域調査

問1 正解 ②

Aは、手前に海面、奥には山地が見られるので**A**である。**I**は、手前に陸地、奥に海面がみられるから**C**である。**ウ**は、手前の海面に河川が流れ込んでいるから**B**である。

問2 正解 ④

①学校や企業は福岡市の方が多いので誤り。②隣の県で高位の市町村は福岡市に隣接していないので誤り。③福岡市の南側の人口集中地区は中位になっているので誤り。④人口集中地区は鉄道沿線に分布しているので正しい。

問3 正解 ③

福岡市は地方の中核都市なので、卸売業やサービス業の割合が高くなるので、**F**である。**力**は、大企業の支店数を比較しているので、**X**となる。

問4 正解 ②

J：新しいマンションが並んでいるとあるので、人口増加率が最も高い**サ**となる。**K**：古い戸建ての住宅が並んでいたとあるので、老年人口増加率が高い**ス**となる。**L**：駅周辺に田畑が広がっていたとあるので、人口が減少している**シ**となる。

問5 正解 ②

①史跡や神社は古くからの居住地に建設されているので、正しい。②河道がカーブしていたら古くからの地形で、直線になっていたら地形が変えられているので、正しい。③埋め立て地では道路が整然としていて区画を広くすることで福岡ドームなどの建造物などもみられるので、正しい。④公共施設や学校は埋め立て地にもみられるので、誤り。

問6 正解 ②

①福岡市には多くの学校や企業があるので、正しい。②中国・四国地方には人口増加率が低い県もあるので、誤り。③大阪圏・名古屋圏は福岡市と同じく学校や企業が多いので、正しい。④東京都は学校や企業が最も多いので、正しい。